

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「アメリカン・ドリーム・ファンド」は去る2025年6月12日に第18期の決算を行いました。

当ファンドは主に米国小型成長株マザーファンドに投資を行い、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行ってまいりました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第18期末 (2025年6月12日)

基準価額	14,575円
純資産総額	3,399百万円
第18期	
騰落率	△2.9%
分配金(税込み)合計	500円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

アメリカン・ドリーム・ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第18期(決算日:2025年6月12日)

作成対象期間(2024年6月13日~2025年6月12日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間:営業日の9:00~17:00

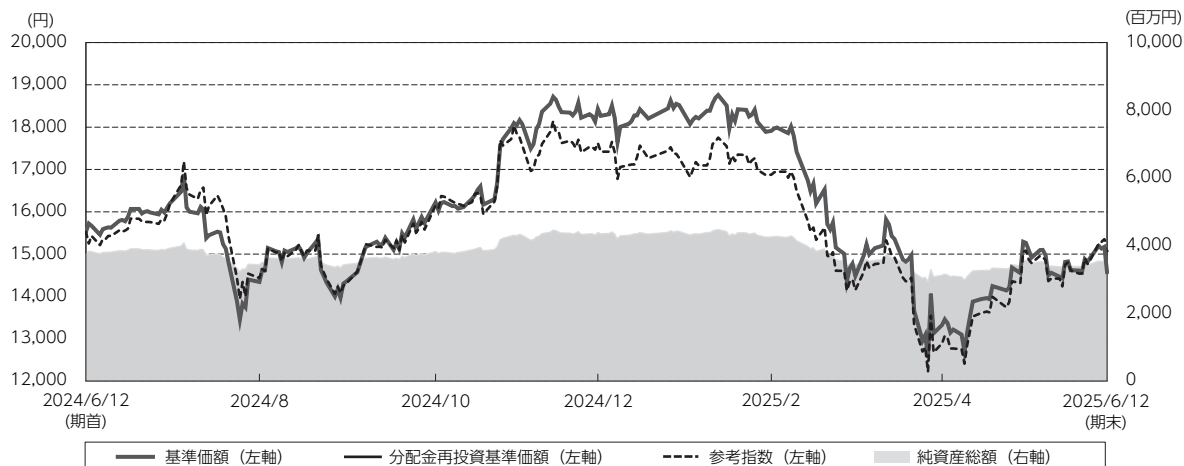
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2024年6月13日～2025年6月12日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2024年6月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものととなります。
- (注4) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- (注5) 参考指数についての説明は、P13の「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、「米国小型成長株マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます)を親投資信託とするファミリーファンド方式で運用しております。当期は、運用の基本方針に従いマザーファンドを高位に組み入れた運用を行い、実質的に米国小型株に投資しました。テクノロジー・セクターでの銘柄選択効果がプラスに寄与したものの、ヘルスケアや一般消費財・サービスをはじめとする幅広いセクターでは同効果を得られませんでした。また、円高・米ドル安もマイナスに寄与し、当ファンドの基準価額は前期末比で2.9%(分配金再投資ベース)下落しました。

1万口当たりの費用明細

(2024年6月13日～2025年6月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 415	% 2.585	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(277)	(1.727)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(124)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(14)	(0.088)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	21	0.130	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(21)	(0.130)	
(c) そ の 他 費 用	22	0.139	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(13)	(0.079)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(3)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(7)	(0.041)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要する諸費用
合 計	458	2.854	
期中の平均基準価額は、16,053円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

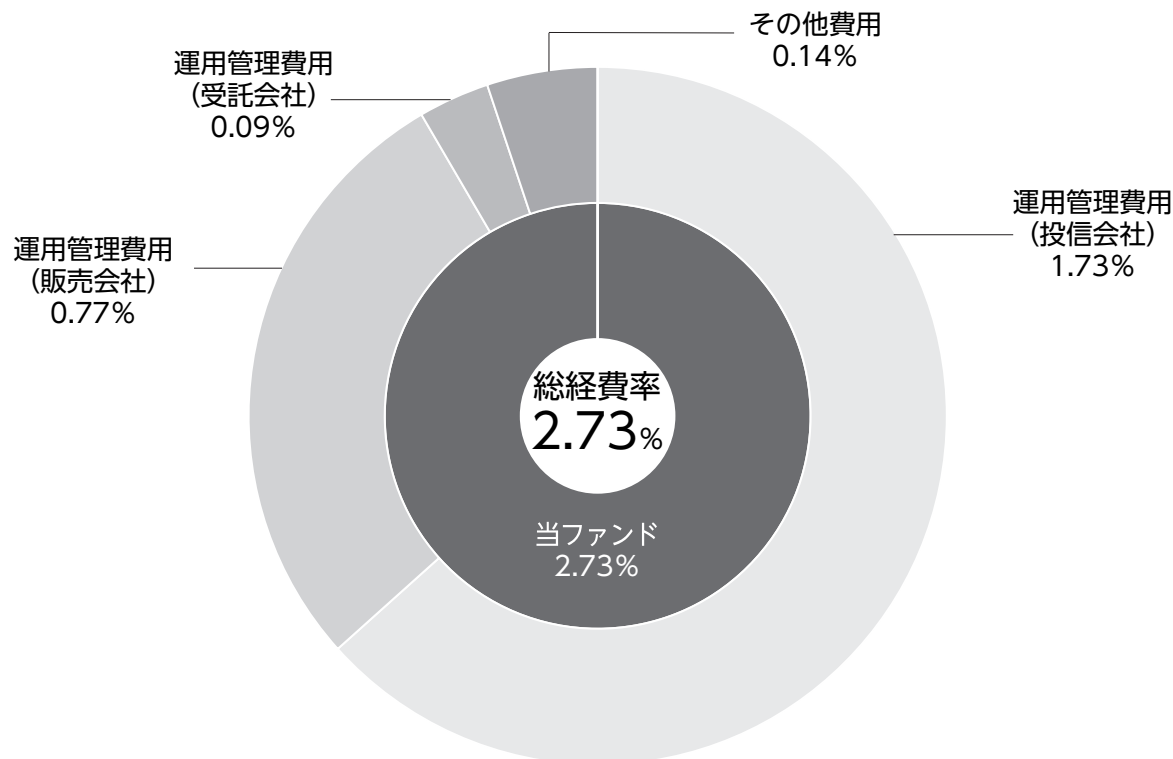
(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.73%です。**



(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

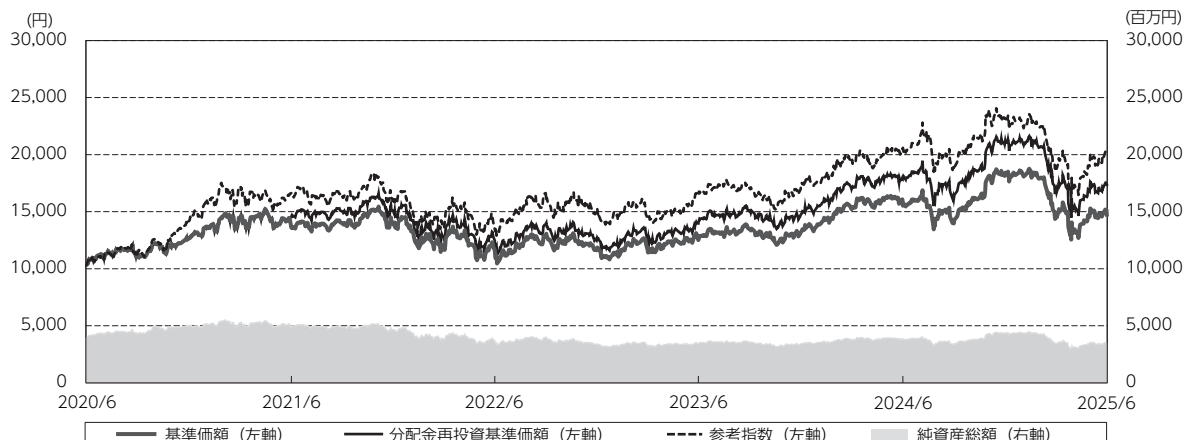
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年6月12日～2025年6月12日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年6月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとなります。

	2020年6月12日 決算日	2021年6月14日 決算日	2022年6月13日 決算日	2023年6月12日 決算日	2024年6月12日 決算日	2025年6月12日 決算日
基準価額 (円)	10,313	13,584	11,612	12,511	15,527	14,575
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,000	0	500	500	500
分配金再投資基準価額騰落率 (%)		41.4	△14.5	12.0	28.1	△2.9
参考指数騰落率 (%)	—	61.2	△19.1	22.8	24.6	△2.0
純資産総額 (百万円)	3,886	4,859	3,692	3,390	3,737	3,399

- (注1) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注4) 参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。参考指数についての説明はP13の「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。

投資環境

(2024年6月13日～2025年6月12日)

<米国株式市場>

- ・期首（2024年6月）～9月：米国株式市場は上昇しました。期首から7月は、雇用統計をはじめとする各種経済指標が軟調だったことから利下げ期待が膨らんだ中、政府が半導体に関する新たな対中国輸出規制の導入を検討していると報じられたこと等により、半導体関連株から小型株への資金シフトが急速に進みました。また8月上旬には、景気減速への警戒感が強まり株式市場が一時的に急落するも、その後に発表された経済指標が概ね市場予想の範囲内に収まると株式市場は反発しました。9月は、FOMC（米国連邦公開市場委員会）での利下げを織り込む形で値を上げ、実際に利下げが実施されると更に上値を切り上げました。
- ・10月～12月：米国株式市場は上昇しました。10月は、減税や規制緩和を公約に掲げるトランプ氏が大統領選挙で勝利するとの見方から財政悪化リスクが高まって長期金利が水準を切り上げ、株式市場は上値の重い展開となりました。11月は、同氏の勝利が確定したことで保護主義的な政策から恩恵を受けるとみられる小型株が大幅高となりました。12月は、中旬に開催されたFOMCで利下げが実施されたものの、2025年の政策金利見通しは引き上げられ、長期金利が水準を切り上げるに伴い11月の上昇幅を縮小する形で値を下げました。
- ・2025年1月～3月：米国株式市場は下落しました。1月は、雇用統計が強含んだことから利下げ期待が後退し株価は値を下げて始まるも、その後発表されたCPI（消費者物価指数）等からインフレの落ち着きが確認された他、トランプ大統領が全世界に対する一律関税の導入を見送ったことで反発しました。2月以降は、トランプ政権がカナダ・メキシコに対する関税措置を発動したことに加え、全輸入車に25%の関税を賦課する計画を公表し、貿易摩擦の激化懸念や景気の先行き不透明感が強まり下落基調で推移しました。
- ・4月～期末（6月）：米国株式市場は上昇しました。4月初旬には、トランプ政権が発表した相互関税が世界経済の減速を招くとの懸念から株式市場は急落に見舞われたものの、その数日後には米国への報復措置を講じなかった国々に同関税措置を停止したことで反発しました。4月下旬以降は、同政権で対中国関税の大幅な引き下げが検討されていると報じられ、緊張緩和への期待が膨らんだことから上昇基調を辿り、実際に米中両国が相互に課している追加関税を引き下げることで合意したことが伝わると、株式市場は一段と上昇し期末を迎えました。

<為替市場>

- ・期中の円／米ドル相場は約8.33%の大幅な円高・米ドル安となり、基準価格の押し下げ要因となりました。
- ・期首（2024年6月）～12月：円／米ドル相場は僅かながら円安・米ドル高に振れました。期首から7月中旬にかけては、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官が利下げに慎重な姿勢を崩さなかったことなどを背景に日米の金利差が意識され、円／米ドル相場は期首の1ドル150円台後半から160円台前半へ円安・米ドル高が進行しました。その後、米国の景気鈍化観測や日本銀行の利上げ等から7月に反転し、9月には一時140円前半まで円高・米ドル安が進んだものの、10月以降はFRBの金融緩和や日本銀行による金融引き締めが市場の事前予想のペースより遅れ気味だったことから円安基調に戻り、円／米ドル相場は1ドル158円台で年末を迎えました。
- ・2025年1月～期末（6月）：円／米ドル相場は大幅に円高・米ドル安が進みました。年明け以降は、市場参加者の間で日本銀行が1月下旬の金融政策決定会合で追加利上げに踏み切るとの見方が強まったことや、トランプ米国大統領による円安牽制発言等から、4月までに円／米ドル相場は1ドル140円前半と大きく円高・米ドル安に振れました。期末にかけては、米中対立緩和への期待やトランプ減税の恒久化等に伴う連邦財政の悪化懸念を材料に円／米ドル相場は一進一退の動きとなり、1ドル145円前後で推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年6月13日～2025年6月12日)

<アメリカン・ドリーム・ファンド>

当ファンドは、マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

<米国小型成長株マザーファンド>

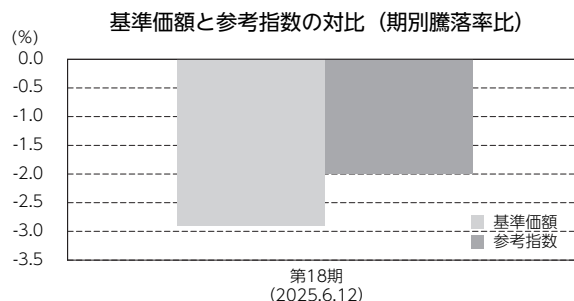
マザーファンドは、米国の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行いました。

マザーファンドでは、ファンダメンタルズを重視し、優れたイノベーション及び堅調な業績拡大をベースにした持続的成長力を持つ中小型企业への選別投資を行い、中長期的に優れたリターンの獲得に努めました。株式組入比率については、当期を通じて高位の水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年6月13日～2025年6月12日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



- (注1) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）です。
(注2) 参考指数についての説明は、P13の「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。

分配金

(2024年6月13日～2025年6月12日)

収益分配金につきましては、収益分配方針に基づき、基準価額水準や市場動向を勘案し、当期は1万口あたり500円（税込み）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行いました。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第18期
	2024年6月13日～ 2025年6月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	500 3.317%
当期の収益	—
当期の収益以外	500
翌期繰越分配対象額	4,574

- (注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<アメリカン・ドリーム・ファンド>

当ファンドでは、引き続き運用の基本方針に基づき、マザーファンド受益証券を高位に組み入れた運用を行っていく方針です。

<米国小型成長株マザーファンド>

- ・米国の通商政策を巡る動きが世界的に注目を集める中、足元の株式市場はその影響を強く受けた展開となっています。米国と各国との交渉が進められている状況ですが、トランプ米大統領の関税に関する発言はこれまでも二転三転しており、交渉内容や他国との合意を覆すリスクも孕んでいることから、今後の情勢の変化には注意が必要です。当マザーファンドは、短期的な不確実性が強まる局面こそ、割安な株価水準で小型グロース株へ投資する好機と捉えています。中でもフィンテック関連銘柄は、2022年以降の高金利を背景に、株価の低迷が続いてきました。しかし、足元では金融規制の緩和の進展に加え、銀行がデジタル対応の加速を目的にフィンテック企業を買収する動きがみられ、革新的な金融サービスを提供する同企業群の株価上昇余地は大きいと考えられます。こうした見通しの下、当マザーファンドはファーストキャッシュ・ホールディングスやQ2ホールディングス等、フィンテック企業群の中でも特に注目する銘柄に対して追加投資を実施しましたが、今後も業績見通しの確信度が高い保有銘柄のポジションを積み増すとともに、新たな投資機会の発掘にも引き続き注力して参ります。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(変更適用日：2025年4月1日)

<当該約款変更につきまして>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

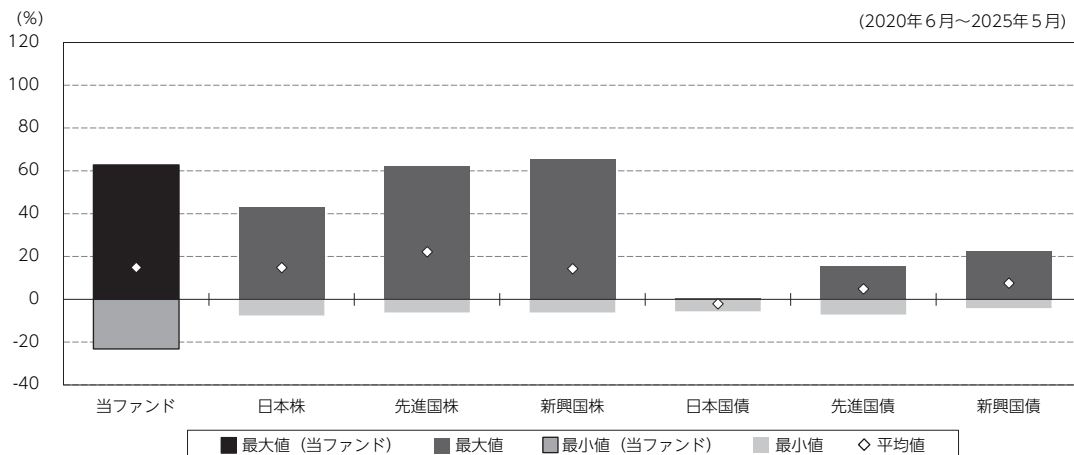
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	原則として無期限です。 2008年6月12日にクローズド期間が明けました。	
運 用 方 針	当ファンドは、主に米国小型成長株マザーファンド受益証券に投資を行い、長期的に安定的な収益の確保と投資信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	アメリカン・ドリーム・ファンド	主として米国小型成長株マザーファンド受益証券に投資します。
	米国小型成長株マザーファンド	主として米国の株式に投資します。
運 用 方 法	①主として米国小型成長株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主に米国の株式に投資し、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。なお米国以外の企業が発行する米国の金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号ロに規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。）に上場、または金融商品取引所に準ずる市場で取引されている株式（米国預託証書（ADR）を含みます。以下「ADR等」といいます。）に投資する場合があります。 ②米国株式（ADR等を含みます。）への実質投資比率は高位を維持することを基本とします。 ③実質組入外貨建て資産について、原則として為替ヘッジを行いません。 ④投資信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、わが国において行われる有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）並びに委託者が適当と認める外国の金融商品取引所等におけるこれらと類似の取引を行うことができます。 ⑤資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。	
分 配 方 針	①分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益（繰越分およびみなし配当等収益を控除）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除）等の全額とします。 ②分配対象額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：％)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	62.8	42.8	62.2	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 23.2	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△5.6	△ 7.1	△ 4.1
平均値	14.8	14.8	22.2	14.2	△2.1	4.8	7.5

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年6月から2025年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な各資産クラスの指数》

日 本 株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年6月12日現在)

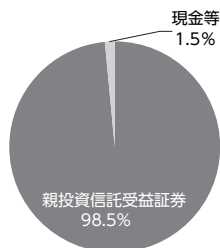
○組入上位ファンド

銘柄名	第18期末
米国小型成長株マザーファンド	% 98.5
組入銘柄数	1 銘柄

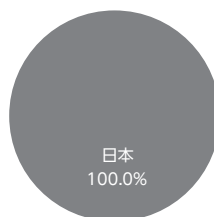
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

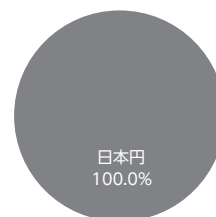
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注3) 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

純資産等

項目	第18期末
	2025年6月12日
純資産総額	3,399,858,186円
受益権総口数	2,332,677,535口
1万口当たり基準価額	14,575円

(注) 期中における追加設定元本額は244,524,190円、同解約元本額は319,070,710円です。

組入上位ファンドの概要

米国小型成長株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年6月13日～2025年6月12日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	79円 (79)	0.131% (0.131)
(b) その他費用 (保管費用)	48 (48)	0.080 (0.080)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	127	0.211
平均基準価額は、60,475円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2025年6月12日現在)

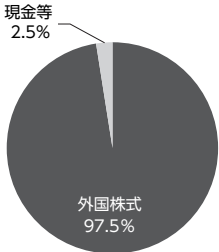
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	CYBERARK SOFTWARE LT	ソフトウェア・サービス	米ドル	米国	3.8
2	NATERA INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	米国	3.7
3	Q2 HOLDINGS INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	米国	3.5
4	WINTRUST FINANCIAL C	銀行	米ドル	米国	3.1
5	APPLIED INDUSTRIAL T	資本財	米ドル	米国	3.0
6	EURONET WORLDWIDE	金融サービス	米ドル	米国	2.8
7	FTAI AVIATION LTD	資本財	米ドル	米国	2.8
8	CLEAN HARBORS INC	商業・専門サービス	米ドル	米国	2.8
9	MATADOR RESOURCES CO	エネルギー	米ドル	米国	2.7
10	PAYONEER GLOBAL INC	金融サービス	米ドル	米国	2.5
組入銘柄数			57 銘柄		

(注1) 比率は、当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

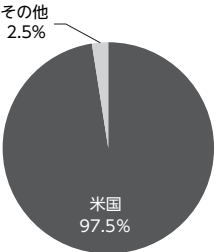
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

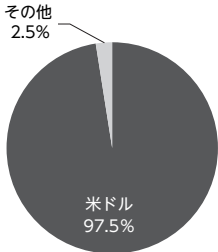
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注3) 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<当ファンドの参考指数について>

参考指数（ラッセル2000グロースインデックス（円換算ベース））は、ラッセル2000グロースインデックス（米ドル建て：為替ヘッジなし）をもとに委託者が独自に計算したもので、当初設定時を10,000として指数化しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の可否、特に本ファンドに投資することの可否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。